

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 新潟県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	松代病院	2	新潟市	新潟市民病院	20
-	柿崎病院	3	見附市	見附市立病院	21
-	津川病院	4	上越市	上越地域医療センター病院	22
-	妙高病院	5	阿賀野市	あがの市民病院	23
-	リウマチセンター	6	佐渡市	佐渡市立両津病院	24
-	坂町病院	7	魚沼市	堀之内病院	25
-	六日町病院	8	魚沼市	小出病院	26
-	加茂病院	9	南魚沼市	ゆきぐに大和病院	27
-	十日町病院	10	南魚沼市	南魚沼市民病院	28
-	小出病院	11	湯沢町	湯沢病院	29
-	中央病院	12	津南町	津南病院	30
-	吉田病院	13	さくら福祉保健事務組合	南部郷厚生病院	31
-	がんセンター	14			
-	新発田病院	15			
-	精神医療センター	16			
-	魚沼基幹病院	17			
-	県央基幹病院	18			
-	燕労災病院	19			

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 松代病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,656 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	64.1	62.1	63.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	64.1	62.1	63.2
平均在院日数(一般病床のみ)		22.5	19.5	21.8

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,094,763,378	
標準財政規模(千円)	559,489,800	
財政力指数	0.46842	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.6
	将来負担比率(%)	287.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	917,925			
1 経常収益	917,925			
(1) 医業収益	493,979			
(うち修正医業収益)	469,840			
入院収益	305,020			
外来収益	149,511			
診療収入計	454,531			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	39,448			
(うち他会計負担金)	24,139			
(2) 医業外収益	423,946			
(うち国・都道府県補助金)	127			
(うち他会計補助・負担金)	386,278			
(うち長期前受金戻入)	31,889			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	951,242			
2 経常費用	951,242			
(1) 医業費用	931,062			
職員給与費	632,872	128.1	60.8	92.5
材料費	70,163	14.2	27.1	14.2
(うち薬品費)	31,692	6.4	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,431	6.0	11.8	5.8
減価償却費	63,185	12.8	8.6	13.4
経費	163,057	33.0	22.0	47.6
(うち委託料)	99,163	20.1	11.8	23.6
研究研修費	1,436			
資産減耗費	349			
(2) 医業外費用	20,180			
(うち支払利息)	1,145	0.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-33,317			
純損益	-33,317			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.5		93.0	95.6
医業収支比率	53.1		83.9	59.3
修正医業収支比率	50.5		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	44.7		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	83.1		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	44.7		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	53.4		81.6	60.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	397,416	410,417
資本勘定繰入	30,451	27,616
計	427,867	438,033

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 柿崎病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,492 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	55	57.4	59.3	61.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	57.4	59.3	61.0
平均在院日数(一般病床のみ)		24.3	26.2	27.9

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,094,763,378	
標準財政規模(千円)	559,489,800	
財政力指数	0.46842	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.6
	将来負担比率(%)	287.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,134,291			
1 経常収益	1,134,291			
(1) 医業収益	596,056			
(うち修正医業収益)	566,904			
入院収益	388,272			
外来収益	167,236			
診療収入計	555,508			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	40,548			
(うち他会計負担金)	29,152			
(2) 医業外収益	538,235			
(うち国・都道府県補助金)	899			
(うち他会計補助・負担金)	515,163			
(うち長期前受金戻入)	17,387			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,131,972			
2 経常費用	1,131,972			
(1) 医業費用	1,108,725			
職員給与費	767,880	128.8	60.8	82.0
材料費	67,489	11.3	27.1	14.2
(うち薬品費)	26,458	4.4	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,145	5.2	11.8	6.1
減価償却費	58,331	9.8	8.6	12.5
経費	204,130	34.2	22.0	34.4
(うち委託料)	92,612	15.5	11.8	16.9
研究研修費	2,188			
資産減耗費	8,707			
(2) 医業外費用	23,247			
(うち支払利息)	865	0.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	2,319			
純損益	2,319			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.2		93.0	93.1
医業収支比率	53.8		83.9	69.6
修正医業収支比率	51.1		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	48.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	91.3		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	48.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	52.1		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	528,050	544,315
資本勘定繰入	18,435	15,384
計	546,485	559,699

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 津川病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,883 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	67	45.8	43.9	47.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	67	45.8	43.9	47.2
平均在院日数(一般病床のみ)		21.0	20.4	19.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,094,763,378	
標準財政規模(千円)	559,489,800	
財政力指数	0.46842	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.6
	将来負担比率(%)	287.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,305,327			
1 経常収益	1,305,327			
(1) 医業収益	654,316			
(うち修正医業収益)	614,482			
入院収益	406,788			
外来収益	194,753			
診療収入計	601,541			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	52,775			
(うち他会計負担金)	39,834			
(2) 医業外収益	651,011			
(うち国・都道府県補助金)	303			
(うち他会計補助・負担金)	613,540			
(うち長期前受金戻入)	27,634			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,341,974			
2 経常費用	1,341,974			
(1) 医業費用	1,314,543			
職員給与費	841,766	128.6	60.8	82.0
材料費	87,752	13.4	27.1	14.2
(うち薬品費)	32,570	5.0	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	46,756	7.1	11.8	6.1
減価償却費	59,244	9.1	8.6	12.5
経費	323,735	49.5	22.0	34.4
(うち委託料)	125,422	19.2	11.8	16.9
研究研修費	1,466			
資産減耗費	580			
(2) 医業外費用	27,431			
(うち支払利息)	373	0.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-36,647			
純損失	-36,647			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.3		93.0	93.1
医業収支比率	49.8		83.9	69.6
修正医業収支比率	46.7		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	50.1		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	99.9		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	50.1		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	48.6		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	634,539	653,374
資本勘定繰入	29,759	29,535
計	664,298	682,909

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 妙高病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,080 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	56	59.5	55.1	53.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	59.5	55.1	53.5
平均在院日数(一般病床のみ)		24.9	25.5	24.6

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,094,763,378
標準財政規模(千円)	559,489,800
財政力指数	0.46842
経常収支比率(%)	93.8
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 18.6 287.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,100,080			
1 経常収益	1,100,080			
(1) 医業収益	631,031			
(うち修正医業収益)	601,477			
入院収益	373,638			
外来収益	212,390			
診療収入計	586,028			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	45,003			
(うち他会計負担金)	29,554			
(2) 医業外収益	469,049			
(うち国・都道府県補助金)	7,188			
(うち他会計補助・負担金)	420,023			
(うち長期前受金戻入)	37,969			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,160,729			
2 経常費用	1,160,729			
(1) 医業費用	1,133,259			
職員給与費	722,952	114.6	60.8	82.0
材料費	74,492	11.8	27.1	14.2
(うち薬品費)	33,808	5.4	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,909	5.1	11.8	6.1
減価償却費	85,240	13.5	8.6	12.5
経費	248,401	39.4	22.0	34.4
(うち委託料)	112,190	17.8	11.8	16.9
研究研修費	1,305			
資産減耗費	869			
(2) 医業外費用	27,470			
(うち支払利息)	1,417	0.2	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-60,649			
純損益	-60,649			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.8		93.0	93.1
医業収支比率	55.7		83.9	69.6
修正医業収支比率	53.1		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	40.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	71.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	40.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	56.0		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	434,209	449,577
資本勘定繰入	39,232	35,611
計	473,441	485,188

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 リウマチセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,303 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	100	55.5	65.0	66.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	55.5	65.0	66.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	17.5	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,094,763,378	
標準財政規模(千円)	559,489,800	
財政力指数	0.46842	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.6
	将来負担比率(%)	287.0

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,874,376				
1 経常収益	1,874,376				
(1) 医業収益	1,327,341				
(うち修正医業収益)	1,327,341				
入院収益	844,340				
外来収益	463,052				
診療収入計	1,307,392				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	19,949				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	547,035				
(うち国・都道府県補助金)	120				
(うち他会計補助・負担金)	470,536				
(うち長期前受金戻入)	66,622				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,102,126				
2 経常費用	2,102,126				
(1) 医業費用	2,066,217				
職員給与費	1,198,217	90.3	60.8	69.3	
材料費	446,846	33.7	27.1	18.4	
(うち薬品費)	320,511	24.1	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	105,991	8.0	11.8	9.1	
減価償却費	99,635	7.5	8.6	10.8	
経費	311,490	23.5	22.0	29.9	
(うち委託料)	175,488	13.2	11.8	13.7	
研究研修費	8,468				
資産減耗費	1,561				
(2) 医業外費用	35,909				
(うち支払利息)	750	0.1	0.9	1.0	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-227,750				
純損益	-227,750				
累積欠損金	336,141				
経常収支比率	89.2		93.0	91.6	
医業収支比率	64.2		83.9	77.4	
修正医業収支比率	64.2		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	25.1		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	35.4		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	25.1		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	66.8		81.6	75.4	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	457,487	470,536
資本勘定繰入	36,309	27,944
計	493,796	498,480

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 坂町病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,223 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	148	58.1	54.2	52.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	58.1	54.2	52.2
平均在院日数(一般病床のみ)		22.7	19.9	20.9

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,094,763,378	
標準財政規模(千円)	559,489,800	
財政力指数	0.46842	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.6
	将来負担比率(%)	287.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,868,759			
1 経常収益	2,868,759			
(1) 医業収益	1,850,803			
(うち修正医業収益)	1,784,244			
入院収益	1,181,972			
外来収益	563,490			
診療収入計	1,745,462			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	105,341			
(うち他会計負担金)	66,559			
(2) 医業外収益	1,017,956			
(うち国・都道府県補助金)	100,350			
(うち他会計補助・負担金)	840,975			
(うち長期前受金戻入)	64,811			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,850,205			
2 経常費用	2,850,205			
(1) 医業費用	2,794,138			
職員給与費	1,777,042	96.0	60.8	69.3
材料費	276,532	14.9	27.1	18.4
(うち薬品費)	115,729	6.3	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	136,503	7.4	11.8	9.1
減価償却費	159,958	8.6	8.6	10.8
経費	572,084	30.9	22.0	29.9
(うち委託料)	262,321	14.2	11.8	13.7
研究研修費	4,732			
資産減耗費	3,790			
(2) 医業外費用	56,067			
(うち支払利息)	820	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	18,554			
純損益	18,554			
累積欠損金	5,868,567			
経常収支比率	100.7		93.0	91.6
医業収支比率	66.2		83.9	77.4
修正医業収支比率	63.9		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	31.6		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	49.0		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	31.6		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	68.8		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	871,198	907,534
資本勘定繰入	74,152	65,852
計	945,350	973,386

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名 新潟県	
市町村・組合名			
病院名	六日町病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,094,763,378	
標準財政規模(千円)	559,489,800	
財政力指数	0.46842	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.6
	将来負担比率(%)	287.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	-	-	8.6	10.8
経費	-	-	22.0	29.9
(うち委託料)	-	-	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	2,967,357			
経常収支比率	-		93.0	91.6
医業収支比率	-		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	-		81.6	75.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	40	-
資本勘定繰入	2,113	2,197
計	2,153	2,197

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 加茂病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非	該	当
建物面積	23,862 m ²	不採算地区中核病院	非	該	当
診療科数	12	指定病院の状況	救	臨	輪
許可公営企業		看護配置	1	0	: 1
DPC対象病院	-	経営形態	指	定	管
		類似区分	50	床	以
			上	~	100
			床		未
			満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	80	60.1	28.0	32.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	60.1	26.0	30.3
平均在院日数(一般病床のみ)		26.9	27.3	24.4

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,094,763,378
標準財政規模(千円)	559,489,800
財政力指数	0.46842
経常収支比率(%)	93.8
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	679,723			
1 経常収益	679,723			
(1) 医業収益	2,200			
(うち修正医業収益)	2,200			
入院収益	-1,524			
外来収益	-334			
診療収入計	-1,858			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	4,058			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	677,523			
(うち国・都道府県補助金)	45,600			
(うち他会計補助・負担金)	445,169			
(うち長期前受金戻入)	186,384			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,306,673			
2 経常費用	1,306,673			
(1) 医業費用	494,604			
職員給与費	11,827	537.6	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	475,677	21621.7	8.6	12.5
経費	7,100	322.7	22.0	34.4
(うち委託料)	2,670	121.4	11.8	16.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	-	-	-	-
(2) 医業外費用	812,069			
(うち支払利息)	40,209	1827.7	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-626,950			
純損益	-626,950			
累積欠損金	19,907,248			
経常収支比率	52.0		93.0	93.1
医業収支比率	0.4		83.9	69.6
修正医業収支比率	0.4		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	65.5		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	20235.0		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	65.5		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	18.0		81.6	68.2

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	39,116	445,169
資本勘定繰入	179,454	180,177
計	218,570	625,346

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		十日町病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	33,341 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	275	71.4	66.7	64.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	275	71.4	66.7	64.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	18.4	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,094,763,378	
標準財政規模(千円)	559,489,800	
財政力指数	0.46842	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.6
	将来負担比率(%)	287.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,238,458			
1 経常収益	5,238,458			
(1) 医業収益	4,277,430			
(うち修正医業収益)	4,177,825			
入院収益	3,166,314			
外来収益	962,651			
診療収入計	4,128,965			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	148,465			
(うち他会計負担金)	99,605			
(2) 医業外収益	961,028			
(うち国・都道府県補助金)	7,275			
(うち他会計補助・負担金)	544,731			
(うち長期前受金戻入)	356,299			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,637,090			
2 経常費用	6,637,090			
(1) 医業費用	6,295,230			
職員給与費	3,404,586	79.6	60.8	66.2
材料費	848,492	19.8	27.1	21.2
(うち薬品費)	413,009	9.7	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	381,346	8.9	11.8	10.1
減価償却費	867,796	20.3	8.6	9.5
経費	1,155,922	27.0	22.0	28.6
(うち委託料)	556,062	13.0	11.8	14.4
研究研修費	11,286			
資産減耗費	7,148			
(2) 医業外費用	341,860			
(うち支払利息)	60,909	1.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-1,398,632			
純損益	-1,398,632			
累積欠損金	6,843,811			
経常収支比率	78.9		93.0	89.9
医業収支比率	67.9		83.9	79.3
修正医業収支比率	66.4		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	12.3		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	15.1		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	12.3		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	69.2		81.6	77.2

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	610,735	644,336
資本勘定繰入	261,890	270,349
計	872,625	914,685

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名 新潟県	
市町村・組合名			
病院名	小出病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,094,763,378	
標準財政規模(千円)	559,489,800	
財政力指数	0.46842	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.6
	将来負担比率(%)	287.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	61.3
材料費	-	-	27.1	26.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.6	8.5
経費	-	-	22.0	21.8
(うち委託料)	-	-	11.8	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	665,731			
経常収支比率	-		93.0	92.2
医業収支比率	-		83.9	84.6
修正医業収支比率	-		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	-		81.6	82.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	368	-
資本勘定繰入	10,839	3,993
計	11,207	3,993

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 中央病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,306 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	524	78.9	74.0	75.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	530	78.0	73.2	74.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	12.8	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,094,763,378	
標準財政規模(千円)	559,489,800	
財政力指数	0.46842	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.6
	将来負担比率(%)	287.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,640,261			
1 経常収益	19,640,261			
(1) 医業収益	17,666,976			
(うち修正医業収益)	17,412,255			
入院収益	11,298,957			
外来収益	5,947,962			
診療収入計	17,246,919			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	420,057			
(うち他会計負担金)	254,721			
(2) 医業外収益	1,973,285			
(うち国・都道府県補助金)	47,347			
(うち他会計補助・負担金)	1,048,163			
(うち長期前受金戻入)	703,715			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,975,257			
2 経常費用	19,975,257			
(1) 医業費用	19,580,436			
職員給与費	9,243,295	52.3	60.8	53.3
材料費	6,619,108	37.5	27.1	33.0
(うち薬品費)	4,022,867	22.8	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,479,117	14.0	11.8	14.1
減価償却費	1,155,688	6.5	8.6	7.4
経費	2,500,185	14.2	22.0	17.2
(うち委託料)	1,351,829	7.7	11.8	10.2
研究研修費	35,659			
資産減耗費	26,501			
(2) 医業外費用	394,821			
(うち支払利息)	87,081	0.5	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-334,996			
純損益	-334,996			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.3		93.0	94.3
医業収支比率	90.2		83.9	89.6
修正医業収支比率	88.9		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	6.6		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	7.4		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	6.6		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	91.8		81.6	87.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,146,257	1,302,884
資本勘定繰入	1,229,086	1,268,816
計	2,375,343	2,571,700

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 吉田病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ト透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,771 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	8	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	110	68.7	34.8	35.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	68.7	34.8	35.2
平均在院日数(一般病床のみ)		21.5	19.9	18.9

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,094,763,378
標準財政規模(千円)	559,489,800
財政力指数	0.46842
経常収支比率(%)	93.8
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 18.6 287.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	706,957			
1 経常収益	706,957			
(1) 医業収益	1,365			
(うち修正医業収益)	1,365			
入院収益	-668			
外来収益	-445			
診療収入計	-1,113			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	2,478			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	705,592			
(うち国・都道府県補助金)	3,640			
(うち他会計補助・負担金)	633,448			
(うち長期前受金戻入)	62,746			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,198,166			
2 経常費用	1,198,166			
(1) 医業費用	219,879			
職員給与費	15,040	1101.8	60.8	69.3
材料費	-1	-0.1	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-1	-0.1	11.8	9.1
減価償却費	181,278	13280.4	8.6	10.8
経費	21,952	1608.2	22.0	29.9
(うち委託料)	2,575	188.6	11.8	13.7
研究研修費	30			
資産減耗費	1,580			
(2) 医業外費用	978,287			
(うち支払利息)	1,780	130.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-491,209			
純損失	-491,209			
累積欠損金	17,796,487			
経常収支比率	59.0		93.0	91.6
医業収支比率	0.6		83.9	77.4
修正医業収支比率	0.6		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	89.6		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	46406.4		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	89.6		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	6.1		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	111,474	633,448
資本勘定繰入	111,487	58,474
計	222,961	691,922

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 がんセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,173 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	404	73.9	72.9	71.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	404	73.9	72.9	71.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	11.5	11.9

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,094,763,378
標準財政規模(千円)	559,489,800
財政力指数	0.46842
経常収支比率(%)	93.8
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 18.6 287.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,999,471			
1 経常収益	16,999,471			
(1) 医業収益	15,202,970			
(うち修正医業収益)	14,912,946			
入院収益	7,837,747			
外来収益	6,723,175			
診療収入計	14,560,922			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	642,048			
(うち他会計負担金)	290,024			
(2) 医業外収益	1,796,501			
(うち国・都道府県補助金)	14,007			
(うち他会計補助・負担金)	1,290,296			
(うち長期前受金戻入)	408,428			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,622,251			
2 経常費用	17,622,251			
(1) 医業費用	17,285,210			
職員給与費	7,341,124	48.3	60.8	58.1
材料費	6,657,126	43.8	27.1	29.1
(うち薬品費)	5,063,234	33.3	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,512,320	9.9	11.8	12.7
減価償却費	861,552	5.7	8.6	8.1
経費	2,266,107	14.9	22.0	18.7
(うち委託料)	1,457,716	9.6	11.8	10.4
研究研修費	147,197			
資産減耗費	12,104			
(2) 医業外費用	337,041			
(うち支払利息)	15,892	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-622,780			
純損益	-622,780			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.5		93.0	93.4
医業収支比率	88.0		83.9	87.3
修正医業収支比率	86.3		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	87.5		81.6	84.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,479,464	1,580,320
資本勘定繰入	450,336	454,071
計	1,929,800	2,034,391

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	新発田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	40,233 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	429	84.6	80.5	81.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	45	54.1	56.2	63.0
感染症	4	-	4.6	31.8
計	478	81.0	77.6	79.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	12.1	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,094,763,378	
標準財政規模(千円)	559,489,800	
財政力指数	0.46842	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.6
	将来負担比率(%)	287.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,616,249			
1 経常収益	18,613,498			
(1) 医業収益	16,422,712			
(うち修正医業収益)	16,270,126			
入院収益	10,962,549			
外来収益	5,120,748			
診療収入計	16,083,297			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	339,415			
(うち他会計負担金)	152,586			
(2) 医業外収益	2,190,786			
(うち国・都道府県補助金)	31,502			
(うち他会計補助・負担金)	1,433,458			
(うち長期前受金戻入)	596,008			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,751			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,316,668			
2 経常費用	19,316,668			
(1) 医業費用	18,630,649			
職員給与費	9,190,421	56.0	60.8	58.1
材料費	6,086,481	37.1	27.1	29.1
(うち薬品費)	3,533,447	21.5	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,436,428	14.8	11.8	12.7
減価償却費	852,358	5.2	8.6	8.1
経費	2,466,158	15.0	22.0	18.7
(うち委託料)	1,408,205	8.6	11.8	10.4
研究研修費	27,741			
資産減耗費	7,490			
(2) 医業外費用	686,019			
(うち支払利息)	215,394	1.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-703,170			
純損益	-700,419			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.4		93.0	93.4
医業収支比率	88.1		83.9	87.3
修正医業収支比率	87.3		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.7		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	8.5		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	88.1		81.6	84.3

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,505,681	1,586,044
資本勘定繰入	740,794	791,202
計	2,246,475	2,377,246

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 精神医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,502 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	400	30.9	31.5	31.1
感染症	-	-	-	-
計	400	30.9	31.5	31.1
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,094,763,378	
標準財政規模(千円)	559,489,800	
財政力指数	0.46842	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.6
	将来負担比率(%)	287.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,078,313			
1 経常収益	3,078,311			
(1) 医業収益	1,069,449			
(うち修正医業収益)	1,069,449			
入院収益	867,823			
外来収益	190,615			
診療収入計	1,058,438			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	11,011			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,008,862			
(うち国・都道府県補助金)	131			
(うち他会計補助・負担金)	1,779,452			
(うち長期前受金戻入)	202,469			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,169,073			
2 経常費用	3,169,073			
(1) 医業費用	3,071,099			
職員給与費	2,220,823	207.7	60.8	108.5
材料費	118,928	11.1	27.1	9.4
(うち薬品費)	55,224	5.2	14.8	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,260	2.1	11.8	1.4
減価償却費	240,448	22.5	8.6	12.6
経費	485,277	45.4	22.0	34.8
(うち委託料)	232,972	21.8	11.8	15.4
研究研修費	4,632			
資産減耗費	991			
(2) 医業外費用	97,974			
(うち支払利息)	50,936	4.8	0.9	2.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-90,762			
純損失	-90,760			
累積欠損金	22,836			
経常収支比率	97.1		93.0	95.5
医業収支比率	34.8		83.9	60.3
修正医業収支比率	34.8		81.0	57.7
他会計繰入金対経常収益比率	57.8		12.2	35.6
他会計繰入金対医業収益比率	166.4		14.3	58.4
他会計繰入金対総収益比率	57.8		12.3	35.3
実質収益対経常費用比率	41.0		81.6	61.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,752,442	1,779,452
資本勘定繰入	328,945	350,070
計	2,081,387	2,129,522

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 魚沼基幹病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	33,549 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救急が感災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	400	83.8	76.2	71.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	82.2	86.2	62.0
感染症	4	50.3	36.0	26.6
計	454	83.3	77.1	69.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.1	12.4

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,094,763,378	
標準財政規模(千円)	559,489,800	
財政力指数	0.46842	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.6
	将来負担比率(%)	287.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,653,251			
1 経常収益	2,653,251			
(1) 医業収益	464,260			
(うち修正医業収益)	36,712			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	464,260			
(うち他会計負担金)	427,548			
(2) 医業外収益	2,188,991			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,188,915			
(うち長期前受金戻入)	995,958			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,850,196			
2 経常費用	2,850,196			
(1) 医業費用	2,640,541			
職員給与費	-	-	60.8	58.1
材料費	-	-	27.1	29.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	1,100,601	237.1	8.6	8.1
経費	1,526,047	328.7	22.0	18.7
(うち委託料)	36,981	8.0	11.8	10.4
研究研修費	-			
資産減耗費	13,893			
(2) 医業外費用	209,655			
(うち支払利息)	106,103	22.9	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-196,945			
純損失	-196,945			
累積欠損金	1,364,150			
経常収支比率	93.1		93.0	93.4
医業収支比率	17.6		83.9	87.3
修正医業収支比率	1.4		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	60.9		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	348.2		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	60.9		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	36.4		81.6	84.3

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,365,450	1,616,463
資本勘定繰入	354,204	708,409
計	1,719,654	2,324,872

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名 新潟県
市町村・組合名				
病院名	県央基幹病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	45,390 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	29	指定病院の状況	救臨感災地輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)	
		類似区分	400床以上~500床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	396	81.6	32.9	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	400	80.8	32.6	-
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.5	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,094,763,378
標準財政規模(千円)	559,489,800
財政力指数	0.46842
経常収支比率(%)	93.8
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 18.6 287.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,534,652			
1 経常収益	2,534,652			
(1) 医業収益	611,267			
(うち修正医業収益)	26,019			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	611,267			
(うち他会計負担金)	585,248			
(2) 医業外収益	1,923,385			
(うち国・都道府県補助金)	1,230			
(うち他会計補助・負担金)	680,922			
(うち長期前受金戻入)	1,234,091			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,575,368			
2 経常費用	3,575,368			
(1) 医業費用	3,237,279			
職員給与費	-	-	60.8	58.1
材料費	-	-	27.1	29.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	2,274,924	372.2	8.6	8.1
経費	962,309	157.4	22.0	18.7
(うち委託料)	27,358	4.5	11.8	10.4
研究研修費	-			
資産減耗費	46			
(2) 医業外費用	338,089			
(うち支払利息)	330,947	54.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-1,040,716			
純損失	-1,040,716			
累積欠損金	1,040,715			
経常収支比率	70.9		93.0	93.4
医業収支比率	18.9		83.9	87.3
修正医業収支比率	0.8		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	50.0		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	207.1		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	50.0		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	35.5		81.6	84.3

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	120,323,893
1 固定資産	105,957,711
(1) 有形固定資産	100,708,294
(2) 無形固定資産	33,071
(3) 投資その他の資産	5,216,346
2 流動資産	14,366,182
(1) 現金及び預金	3,419,816
(2) 未収金及び未収収益	10,554,180
(3) 貸倒引当金()	236,625
(4) 貯蔵品	356,977
3 繰延資産	-
負債合計	130,536,173
1 固定負債	89,842,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,369,230
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,247,354
(6) リース債務	225,454
2 流動負債	20,900,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,886,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,220,034
(6) リース債務	169,095
(7) 一時借入金	817,349
(8) 未払金及び未払費用	7,314,156
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,793,479
(1) 長期前受金	41,848,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,054,940
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,212,280
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-39,201,299
(1) 資本剰余金	1,449,982
(2) 利益剰余金	-40,651,281
負債・資本合計	120,323,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,212,280
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,045,510	1,266,170
資本勘定繰入	225,538	451,076
計	1,271,048	1,717,246

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名			
病院名		燕労災病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	68.3	67.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	68.3	67.7
平均在院日数(一般病床のみ)		-	13.2	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,094,763,378	
標準財政規模(千円)	559,489,800	
財政力指数	0.46842	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.6
	将来負担比率(%)	287.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	59,548			
1 経常収益	59,548			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	59,548			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	32,876			
(うち長期前受金戻入)	24			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	52,221			
2 経常費用	34,286			
(1) 医業費用	1,726			
職員給与費	-	-	60.8	61.3
材料費	-	-	27.1	26.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.6	8.5
経費	1,702	-	22.0	21.8
(うち委託料)	-	-	11.8	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	24			
(2) 医業外費用	32,560			
(うち支払利息)	463	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	17,935			
経常損益	25,262			
純損益	7,327			
累積欠損金	24,617			
経常収支比率	173.7		93.0	92.2
医業収支比率	-		83.9	84.6
修正医業収支比率	-		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	55.2		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	55.2		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	77.8		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	232	32,876
資本勘定繰入	38,163	76,327
計	38,395	109,203

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	28,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	28,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	新潟市		
病院名	新潟市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ト透I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	57,805 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	36	指定病院の状況	救臨が感災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	652	82.8	83.1	80.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	16	19.8	21.8	26.5
感染症	8	0.6	4.8	105.3
計	676	80.3	80.7	79.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.2	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	789,275	
決算規模(千円)	453,934,065	
標準財政規模(千円)	245,081,660	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	121.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	27,390,262			
1 経常収益	27,175,557			
(1) 医業収益	24,348,820			
(うち修正医業収益)	23,584,852			
入院収益	16,627,236			
外来収益	6,589,608			
診療収入計	23,216,844			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,131,976			
(うち他会計負担金)	763,968			
(2) 医業外収益	2,826,737			
(うち国・都道府県補助金)	54,923			
(うち他会計補助・負担金)	1,789,200			
(うち長期前受金戻入)	621,450			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	214,705			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	28,985,533			
2 経常費用	28,967,006			
(1) 医業費用	27,248,746			
職員給与費	13,845,010	56.9	60.8	53.3
材料費	8,164,898	33.5	27.1	33.0
(うち薬品費)	4,317,267	17.7	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,847,631	15.8	11.8	14.1
減価償却費	1,118,303	4.6	8.6	7.4
経費	4,032,006	16.6	22.0	17.2
(うち委託料)	2,465,587	10.1	11.8	10.2
研究研修費	76,085			
資産減耗費	12,444			
(2) 医業外費用	1,718,260			
(うち支払利息)	306,315	1.3	0.9	0.7
(3) 特別損失	18,527			
損益	-1,791,449			
純損益	-1,595,271			
累積欠損金	7,882,121			
経常収支比率	93.8		93.0	94.3
医業収支比率	89.4		83.9	89.6
修正医業収支比率	86.6		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	85.0		81.6	87.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	26,814,504
1 固定資産	17,187,360
(1) 有形固定資産	16,926,523
(2) 無形固定資産	7,637
(3) 投資その他の資産	253,200
2 流動資産	9,627,144
(1) 現金及び預金	4,991,862
(2) 未収金及び未収収益	4,170,736
(3) 貸倒引当金()	24,819
(4) 貯蔵品	163,804
3 繰延資産	-
負債合計	27,381,671
1 固定負債	21,928,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,721,770
(2) その他の企業債	800
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,191,045
(6) リース債務	14,807
2 流動負債	4,700,399
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,706,233
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	898,551
(6) リース債務	11,472
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,962,789
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	752,850
(1) 長期前受金	16,272,209
(2) 長期前受金収益化累計額()	15,519,359
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-567,167
1 資本金	7,307,820
2 剰余金	-7,874,987
(1) 資本剰余金	7,134
(2) 利益剰余金	-7,882,121
負債・資本合計	26,814,504
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	567,167
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,553,168	2,553,168
資本勘定繰入	925,163	925,163
計	3,478,331	3,478,331

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	見附市		
病院名	見附市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,283 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	94	93.6	88.5	88.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	94	93.6	88.5	88.1
平均在院日数(一般病床のみ)		25.6	24.3	24.5

設立団体の状況	
人口(人)	39,237
決算規模(千円)	19,670,001
標準財政規模(千円)	10,400,857
財政力指数	0.52
経常収支比率(%)	95.3
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.3
将来負担比率(%)	80.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,369,059			
1 経常収益	2,369,059			
(1) 医業収益	1,940,006			
(うち修正医業収益)	1,903,712			
入院収益	1,004,770			
外来収益	361,835			
診療収入計	1,366,605			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	573,401			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	429,053			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	318,706			
(うち長期前受金戻入)	93,441			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,440,563			
2 経常費用	2,440,362			
(1) 医業費用	2,372,855			
職員給与費	1,614,046	83.2	60.8	82.0
材料費	152,949	7.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	72,040	3.7	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,429	1.8	11.8	6.1
減価償却費	193,110	10.0	8.6	12.5
経費	402,439	20.7	22.0	34.4
(うち委託料)	199,437	10.3	11.8	16.9
研究研修費	7,242			
資産減耗費	3,069			
(2) 医業外費用	67,507			
(うち支払利息)	9,053	0.5	0.9	1.2
(3) 特別損失	201			
経常損益	-71,303			
純損益	-71,504			
累積欠損金	1,559,604			
経常収支比率	97.1		93.0	93.1
医業収支比率	81.8		83.9	69.6
修正医業収支比率	80.2		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	18.3		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	15.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	82.5		81.6	68.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,310,494
1 固定資産	2,476,809
(1) 有形固定資産	2,467,104
(2) 無形固定資産	9,705
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	833,685
(1) 現金及び預金	145,722
(2) 未収金及び未収収益	685,804
(3) 貸倒引当金()	7,724
(4) 貯蔵品	9,883
3 繰延資産	-
負債合計	3,596,821
1 固定負債	2,170,193
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,477,892
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	692,301
(6) リース債務	-
2 流動負債	383,028
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,553
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	96,226
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	151,958
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,043,600
(1) 長期前受金	2,429,273
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,385,673
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-286,327
1 資本金	1,252,245
2 剰余金	-1,538,572
(1) 資本剰余金	21,032
(2) 利益剰余金	-1,559,604
負債・資本合計	3,310,494
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	286,327
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	290,500	355,000
資本勘定繰入	33,719	37,100
計	324,219	392,100

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	80.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	上越市		
病院名	上越地域医療センター病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,956 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	8	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	142	75.1	65.9	60.4
療養	55	92.5	85.9	78.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	197	79.9	71.5	65.3
平均在院日数(一般病床のみ)		22.0	21.0	21.0

設立団体の状況	
人口(人)	188,047
決算規模(千円)	106,860,468
標準財政規模(千円)	60,162,989
財政力指数	0.57
経常収支比率(%)	93.7
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	10.5
将来負担比率(%)	55.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,158,857			
1 経常収益	3,158,857			
(1) 医業収益	2,465,980			
(うち修正医業収益)	2,422,680			
入院収益	1,939,041			
外来収益	422,718			
診療収入計	2,361,759			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	104,221			
(うち他会計負担金)	43,300			
(2) 医業外収益	692,877			
(うち国・都道府県補助金)	855			
(うち他会計補助・負担金)	590,175			
(うち長期前受金戻入)	91,038			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,104,491			
2 経常費用	3,104,491			
(1) 医業費用	3,001,752			
職員給与費	10,639	0.4	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	160,013	6.5	8.6	10.8
経費	2,829,303	114.7	22.0	29.9
(うち委託料)	2,546,798	103.3	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	1,797			
(2) 医業外費用	102,739			
(うち支払利息)	10,540	0.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	54,366			
純損益	54,366			
累積欠損金	294,285			
経常収支比率	101.8		93.0	91.6
医業収支比率	82.2		83.9	77.4
修正医業収支比率	80.7		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.1		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	25.7		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	20.1		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	81.3		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,572,258
1 固定資産	2,572,391
(1) 有形固定資産	2,542,614
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	29,777
2 流動資産	999,867
(1) 現金及び預金	380,965
(2) 未収金及び未収収益	644,771
(3) 貸倒引当金()	25,869
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,734,543
1 固定負債	1,522,717
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	931,509
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	591,208
(6) リース債務	-
2 流動負債	561,542
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	268,624
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	140,865
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	152,053
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	650,284
(1) 長期前受金	2,839,319
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,189,035
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	837,715
1 資本金	-
2 剰余金	837,715
(1) 資本剰余金	1,052,000
(2) 利益剰余金	-214,285
負債・資本合計	3,572,258
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	633,475	633,475
資本勘定繰入	143,070	143,070
計	776,545	776,545

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		阿賀野市			
病院名		あがの市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,192 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	196	64.2	63.8	63.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	196	64.2	63.8	63.8
平均在院日数(一般病床のみ)		24.2	24.1	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	40,696	
決算規模(千円)	26,819,042	
標準財政規模(千円)	13,231,151	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	66.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	463,079			
1 経常収益	463,079			
(1) 医業収益	1,171			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,171			
(うち他会計負担金)	1,171			
(2) 医業外収益	461,908			
(うち国・都道府県補助金)	41,079			
(うち他会計補助・負担金)	116,458			
(うち長期前受金戻入)	72,685			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	830,822			
2 経常費用	820,678			
(1) 医業費用	737,303			
職員給与費	5,505	470.1	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	532,950	45512.4	8.6	10.8
経費	198,694	16967.9	22.0	29.9
(うち委託料)	192,778	16462.7	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	154			
(2) 医業外費用	83,375			
(うち支払利息)	39,049	3334.7	0.9	1.0
(3) 特別損失	10,144			
損益	-357,599			
純損益	-367,743			
累積欠損金	9,394,941			
経常収支比率	56.4		93.0	91.6
医業収支比率	0.2		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.4		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	10045.2		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	25.4		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	42.1		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,705,010
1 固定資産	5,458,489
(1) 有形固定資産	5,457,957
(2) 無形固定資産	532
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	246,521
(1) 現金及び預金	144,552
(2) 未収金及び未収収益	101,969
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,813,118
1 固定負債	4,189,419
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,189,419
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	315,001
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	194,398
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	484
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	120,113
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	308,698
(1) 長期前受金	1,758,321
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,449,623
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	891,892
1 資本金	8,856,833
2 剰余金	-7,964,941
(1) 資本剰余金	1,430,000
(2) 利益剰余金	-9,394,941
負債・資本合計	5,705,010
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	43,588	117,629
資本勘定繰入	112,194	128,018
計	155,782	245,647

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	802300.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	佐渡市		
病院名	佐渡市立両津病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,097 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救 へ 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	99	50.8	50.9	48.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	50.8	50.9	48.4
平均在院日数(一般病床のみ)		24.5	23.4	23.8

設立団体の状況	
人口(人)	51,492
決算規模(千円)	49,113,043
標準財政規模(千円)	25,157,347
財政力指数	0.24
経常収支比率(%)	95.2
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	12.1
将来負担比率(%)	141.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,497,612			
1 経常収益	1,497,612			
(1) 医業収益	1,221,895			
(うち修正医業収益)	1,167,135			
入院収益	647,339			
外来収益	465,756			
診療収入計	1,113,095			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	108,800			
(うち他会計負担金)	54,760			
(2) 医業外収益	275,717			
(うち国・都道府県補助金)	17,774			
(うち他会計補助・負担金)	209,085			
(うち長期前受金戻入)	35,724			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,835,478			
2 経常費用	1,834,891			
(1) 医業費用	1,767,718			
職員給与費	981,903	80.4	60.8	82.0
材料費	172,193	14.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	70,424	5.8	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	91,443	7.5	11.8	6.1
減価償却費	108,279	8.9	8.6	12.5
経費	500,731	41.0	22.0	34.4
(うち委託料)	205,001	16.8	11.8	16.9
研究研修費	2,254			
資産減耗費	2,358			
(2) 医業外費用	67,173			
(うち支払利息)	14,623	1.2	0.9	1.2
(3) 特別損失	587			
経常損益	-337,279			
純損益	-337,866			
累積欠損金	4,921,369			
経常収支比率	81.6		93.0	93.1
医業収支比率	69.1		83.9	69.6
修正医業収支比率	66.0		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.6		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	21.6		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	17.6		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	67.2		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,202,275
1 固定資産	7,084,937
(1) 有形固定資産	7,072,747
(2) 無形固定資産	1,165
(3) 投資その他の資産	11,025
2 流動資産	1,117,338
(1) 現金及び預金	824,018
(2) 未収金及び未収収益	283,177
(3) 貸倒引当金()	645
(4) 貯蔵品	9,498
3 繰延資産	-
負債合計	6,692,502
1 固定負債	5,740,559
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,740,559
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	444,722
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,731
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	63,431
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	270,034
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	507,221
(1) 長期前受金	814,749
(2) 長期前受金収益化累計額()	307,528
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,509,773
1 資本金	4,711,744
2 剰余金	-3,201,971
(1) 資本剰余金	1,719,398
(2) 利益剰余金	-4,921,369
負債・資本合計	8,202,275
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255,943	263,845
資本勘定繰入	18,233	590,426
計	274,176	854,271

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	402.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名 新潟県	
市町村・組合名	魚沼市		
病院名	堀之内病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	34,483
決算規模(千円)	37,612,857
標準財政規模(千円)	16,053,443
財政力指数	0.28
経常収支比率(%)	92.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,344			
1 経常収益	3,344			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,344			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	3,344			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,343			
2 経常費用	3,343			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,343			
(うち支払利息)	3,343	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	1			
純損益	1			
累積欠損金	1,041,442			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	2,229	3,344
資本勘定繰入	24,387	36,580
計	26,616	39,924

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2588.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名	魚沼市				
病院名	小出病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,375 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	90	94.0	91.8	90.6
療養	44	87.1	88.5	95.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	134	91.8	90.7	92.2
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	17.7	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	34,483	
決算規模(千円)	37,612,857	
標準財政規模(千円)	16,053,443	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	16.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,099,927			
1 経常収益	1,099,927			
(1) 医業収益	56,942			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	56,942			
(うち他会計負担金)	56,942			
(2) 医業外収益	1,042,985			
(うち国・都道府県補助金)	1,000			
(うち他会計補助・負担金)	621,860			
(うち長期前受金戻入)	387,028			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,036,472			
2 経常費用	1,036,472			
(1) 医業費用	1,024,373			
職員給与費	5,027	8.8	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	391,835	688.1	8.6	10.8
経費	627,511	1102.0	22.0	29.9
(うち委託料)	270	0.5	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	12,099			
(うち支払利息)	12,099	21.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	63,455			
純損益	63,455			
累積欠損金	432,502			
経常収支比率	106.1		93.0	91.6
医業収支比率	5.6		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	61.7		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	1192.1		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	61.7		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	40.6		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,521,785
1 固定資産	3,899,077
(1) 有形固定資産	3,899,077
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	622,708
(1) 現金及び預金	557,124
(2) 未収金及び未収収益	65,956
(3) 貸倒引当金()	372
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,321,325
1 固定負債	2,836,008
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,836,008
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	522,177
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	428,458
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	467
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	93,252
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	963,140
(1) 長期前受金	3,366,052
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,402,912
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	200,460
1 本金	1,441,654
2 剰余金	-1,241,194
(1) 資本剰余金	232,750
(2) 利益剰余金	-1,473,944
負債・資本合計	4,521,785
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	654,946	678,802
資本勘定繰入	219,168	374,631
計	874,114	1,053,433

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2588.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	南魚沼市		
病院名	ゆきぐに大和病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	12,121 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	13	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	45	45.2	83.3	89.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	45.2	83.3	89.8
平均在院日数(一般病床のみ)		27.3	29.4	30.4

設立団体の状況	
人口(人)	54,851
決算規模(千円)	43,573,678
標準財政規模(千円)	19,297,436
財政力指数	0.42
経常収支比率(%)	93.4
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 11.8 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	621,247			
1 経常収益	621,247			
(1) 医業収益	541,949			
(うち修正医業収益)	505,655			
入院収益	102,664			
外来収益	200,425			
診療収入計	303,089			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	238,860			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	79,298			
(うち国・都道府県補助金)	400			
(うち他会計補助・負担金)	52,747			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	627,951			
2 経常費用	627,892			
(1) 医業費用	627,490			
職員給与費	436,902	80.6	60.8	92.5
材料費	44,889	8.3	27.1	14.2
(うち薬品費)	11,494	2.1	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,348	6.2	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	144,966	26.7	22.0	47.6
(うち委託料)	78,396	14.5	11.8	23.6
研究研修費	699			
資産減耗費	34			
(2) 医業外費用	402			
(うち支払利息)	402	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	59			
損益	経常損益	-6,645		
	純損益	-6,704		
累積欠損金	1,804,945			
経常収支比率	98.9		93.0	95.6
医業収支比率	86.4		83.9	59.3
修正医業収支比率	80.6		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.3		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	16.4		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	14.3		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	84.8		81.6	60.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,599,296
1 固定資産	6,255,750
(1) 有形固定資産	6,226,711
(2) 無形固定資産	29,039
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,343,546
(1) 現金及び預金	498,318
(2) 未収金及び未収収益	763,199
(3) 貸倒引当金()	6,298
(4) 貯蔵品	86,021
3 繰延資産	-
負債合計	5,933,840
1 固定負債	1,712,081
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,505,681
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	206,400
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,421,739
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,416,987
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	249,279
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	352,071
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	800,020
(1) 長期前受金	1,662,323
(2) 長期前受金収益化累計額()	862,303
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,665,456
1 資本金	6,386,043
2 剰余金	-4,720,587
(1) 資本剰余金	88,791
(2) 利益剰余金	-4,809,378
負債・資本合計	7,599,296
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	89,041	89,041
資本勘定繰入	19,160	21,073
計	108,201	110,114

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名	南魚沼市				
病院名	南魚沼市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	12,890 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救 ^ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	144	89.5	83.3	80.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	144	89.5	83.3	80.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	15.0	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	54,851	
決算規模(千円)	43,573,678	
標準財政規模(千円)	19,297,436	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	5,440,354				
1 経常収益	5,438,523				
(1) 医業収益	4,270,983				
(うち修正医業収益)	4,217,900				
入院収益	2,195,879				
外来収益	1,785,533				
診療収入計	3,981,412				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	289,571				
(うち他会計負担金)	53,083				
(2) 医業外収益	1,167,540				
(うち国・都道府県補助金)	18,243				
(うち他会計補助・負担金)	915,189				
(うち長期前受金戻入)	71,368				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	1,831				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	5,649,032				
2 経常費用	5,648,855				
(1) 医業費用	5,441,616				
職員給与費	3,296,832	77.2	60.8	69.3	
材料費	818,016	19.2	27.1	18.4	
(うち薬品費)	451,477	10.6	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	365,121	8.5	11.8	9.1	
減価償却費	464,483	10.9	8.6	10.8	
経費	843,058	19.7	22.0	29.9	
(うち委託料)	409,035	9.6	11.8	13.7	
研究研修費	17,121				
資産減耗費	2,106				
(2) 医業外費用	207,239				
(うち支払利息)	12,183	0.3	0.9	1.0	
(3) 特別損失	177				
経常損益	-210,332				
純損益	-208,678				
累積欠損金	3,004,433				
経常収支比率	96.3		93.0	91.6	
医業収支比率	78.5		83.9	77.4	
修正医業収支比率	77.5		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	17.8		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	22.7		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	17.8		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	79.1		81.6	75.4	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	7,599,296
1 固定資産	6,255,750
(1) 有形固定資産	6,226,711
(2) 無形固定資産	29,039
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,343,546
(1) 現金及び預金	498,318
(2) 未収金及び未収収益	763,199
(3) 貸倒引当金()	6,298
(4) 貯蔵品	86,021
3 繰延資産	-
負債合計	5,933,840
1 固定負債	1,712,081
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,505,681
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	206,400
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,421,739
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,416,987
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	249,279
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	352,071
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	800,020
(1) 長期前受金	1,662,323
(2) 長期前受金収益化累計額()	862,303
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,665,456
1 資本金	6,386,043
2 剰余金	-4,720,587
(1) 資本剰余金	88,791
(2) 利益剰余金	-4,809,378
負債・資本合計	7,599,296
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	957,898	968,272
資本勘定繰入	189,874	337,494
計	1,147,772	1,305,766

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名	湯沢町				
病院名	湯沢病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	10,090 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救 臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	50.5	60.8	65.8
療養	-	-	40.1	61.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	50.5	51.4	63.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	19.2	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	7,767	
決算規模(千円)	9,133,007	
標準財政規模(千円)	4,347,948	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	94.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	30.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	351,020			
1 経常収益	351,020			
(1) 医業収益	41,215			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	41,215			
(うち他会計負担金)	41,215			
(2) 医業外収益	309,805			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	231,241			
(うち長期前受金戻入)	78,120			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	309,516			
2 経常費用	309,516			
(1) 医業費用	306,963			
職員給与費	7,090	17.2	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	101,114	245.3	8.6	13.4
経費	195,985	475.5	22.0	47.6
(うち委託料)	5,572	13.5	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	2,774			
(2) 医業外費用	2,553			
(うち支払利息)	2,484	6.0	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	41,504			
純損益	41,504			
累積欠損金	338,544			
経常収支比率	113.4		93.0	95.6
医業収支比率	13.4		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	77.6		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	661.1		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	77.6		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	25.4		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,177,443
1 固定資産	2,387,003
(1) 有形固定資産	2,387,003
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	790,440
(1) 現金及び預金	699,381
(2) 未収金及び未収収益	91,059
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,075,408
1 固定負債	276,240
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	276,240
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	150,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	81,129
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	529
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	68,579
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	648,931
(1) 長期前受金	1,898,480
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,249,549
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,102,035
1 資本金	2,080,301
2 剰余金	21,734
(1) 資本剰余金	360,278
(2) 利益剰余金	-338,544
負債・資本合計	3,177,443
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	266,049	272,456
資本勘定繰入	43,263	81,867
計	309,312	354,323

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	821.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名 新潟県
市町村・組合名	津南町			
病院名	津南病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	7,163 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	10	指定病院の状況	輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	75.0	79.2	74.7
療養	19	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	59	75.0	79.2	74.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	16.0	14.5

設立団体の状況	
人口(人)	8,989
決算規模(千円)	8,467,161
標準財政規模(千円)	4,923,597
財政力指数	0.26
経常収支比率(%)	84.5
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.6
将来負担比率(%)	16.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,277,335			
1 経常収益	1,277,253			
(1) 医業収益	943,050			
(うち修正医業収益)	906,184			
入院収益	445,956			
外来収益	394,859			
診療収入計	840,815			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	102,235			
(うち他会計負担金)	36,866			
(2) 医業外収益	334,203			
(うち国・都道府県補助金)	1,484			
(うち他会計補助・負担金)	327,167			
(うち長期前受金戻入)	2,079			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	82			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,394,060			
2 経常費用	1,391,423			
(1) 医業費用	1,351,769			
職員給与費	657,329	69.7	60.8	82.0
材料費	118,380	12.6	27.1	14.2
(うち薬品費)	58,780	6.2	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	49,054	5.2	11.8	6.1
減価償却費	62,644	6.6	8.6	12.5
経費	510,250	54.1	22.0	34.4
(うち委託料)	133,689	14.2	11.8	16.9
研究研修費	1,669			
資産減耗費	1,497			
(2) 医業外費用	39,654			
(うち支払利息)	1,683	0.2	0.9	1.2
(3) 特別損失	2,637			
経常損益	-114,170			
純損益	-116,725			
累積欠損金	1,211,625			
経常収支比率	91.8		93.0	93.1
医業収支比率	69.8		83.9	69.6
修正医業収支比率	67.0		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	28.5		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	38.6		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	28.5		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	65.6		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	876,017
1 固定資産	499,198
(1) 有形固定資産	499,198
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	376,819
(1) 現金及び預金	240,009
(2) 未収金及び未収収益	131,831
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,927
3 繰延資産	-
負債合計	231,167
1 固定負債	47,405
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-3,922
(2) その他の企業債	34,800
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	16,527
2 流動負債	164,045
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,124
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	40,881
(6) リース債務	45,433
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	55,435
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,717
(1) 長期前受金	39,165
(2) 長期前受金収益化累計額()	19,448
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	644,850
1 資本金	1,856,475
2 剰余金	-1,211,625
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,211,625
負債・資本合計	876,017
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	168,960	364,033
資本勘定繰入	27,228	27,228
計	196,188	391,261

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	128.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	さくら福祉保健事務組合		
病院名	南部郷厚生病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,959 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	70	66.8	65.2	71.1
療養	50	43.4	48.9	64.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	57.1	58.4	68.4
平均在院日数(一般病床のみ)		101.6	139.3	150.1

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	381,090	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	138.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	201,869			
1 経常収益	201,869			
(1) 医業収益	187,254			
(うち修正医業収益)	187,254			
入院収益	69,453			
外来収益	75,558			
診療収入計	145,011			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	42,243			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	14,615			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	13,266			
(うち長期前受金戻入)	1,310			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	200,197			
2 経常費用	200,197			
(1) 医業費用	185,084			
職員給与費	8,426	4.5	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	101,434	54.2	8.6	10.8
経費	75,224	40.2	22.0	29.9
(うち委託料)	51,003	27.2	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	15,113			
(うち支払利息)	15,112	8.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	1,672			
純損益	1,672			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.8		93.0	91.6
医業収支比率	101.2		83.9	77.4
修正医業収支比率	101.2		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	6.6		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	7.1		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	6.6		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	94.2		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,012,453
1 固定資産	1,488,480
(1) 有形固定資産	1,488,480
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	523,973
(1) 現金及び預金	458,151
(2) 未収金及び未収収益	65,932
(3) 貸倒引当金()	110
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	895,917
1 固定負債	703,348
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	703,348
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	167,671
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,080
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	787
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	27,804
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,898
(1) 長期前受金	51,605
(2) 長期前受金収益化累計額()	26,707
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,116,536
1 資本金	1,109,178
2 剰余金	7,358
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	7,358
負債・資本合計	2,012,453
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	12,802	13,266
資本勘定繰入	102,090	50,625
計	114,892	63,891

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。